

## 医療栄養学科と行田市の地域連携の取組

城西大学では、ドラマ「陸王」で話題の足袋の町“行田市”と城西大学間で平成29年8月に健康レシピ開発支援業務委託「行田ヘルシーメニュープロジェクト」を締結し、カフェメニューの開発や栄養調査などの活動をしています。この事業は国の地方創成拠点整備交付金制度を活用して、行田市水城公園東側園地に行田市指定有形文化財である旧忍町信用組合店舗を移築・復元する事業の一環です。

城西大学薬学部医療栄養学科（管理栄養士養成課程）では、行田市内の飲食店より提案された「健康を意識し始めた世代」を対象にした健康レシピの栄養価調査や栄養のアドバイスを学生が中心となって活動しています。「健康レシピ」に認定されると、店側には認定ステッカーが送られるほか、健康レシピマップに店の場所や写真が掲載されます。第3回目の会合となった健康レシピ発表会は埼玉新聞でも紹介され、真野博委員長(城西大教授)の、「皆さんの意気込みや工夫が十分に感じられた。ドラマ『陸王』の盛り上がりも健康メニューにも生かし、まちを活性化できれば幸い」と期待を込めたコメントも掲載されました。



【認定マーク】



認定マークは、行田市の”G”と城西大学の”J”を組み合わせ、「何を食べようかな」と考えている女の子のマークです。リボンが箸と行田市の”ぎ”の濁点を表し、想像の吹き出しでは行田市のイメージマークである今回のレシピの一つである緑(田園都市)、青(水流)、赤(一体感や情熱)表現。顔のモチーフの下には行田市の農産物である野菜をちりばめています。